

高知医療センター_②勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携仕様書.xlsx

機能要件

No	内容	備考
1	Excelでツールを作成	
2	勤怠システム出力データを取り込み、人事給与システム連携データに変換し出力する。	フォーマット及び変換内容については、《変換仕様》シートを参照ください。
3	メインメニューを管理する。(《メインメニュー》シートの通り(変更可))	取込ファイルの指定、データの変換、ファイルの出力、取込済データのクリアができる画面とする。 ※取込ファイルについては、2回以上取り込んだ場合は、前回の取り込み結果の下の行に追加(上書きではなく、追加)
4	出力前の最終確認用画面を設ける。	当画面で変更した場合には変更後の値を最終的に出力することとする。 ・前0が消えないように文字型のものについては文字列で、Excel上で修正ができるようにしてください。
5	変換できなかったデータや出力できなかったデータはエラー内容を確認できるようにする。	

勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携

取込データクリア

勤怠管理システムデータ

...

取込

※複数回取り込んだ場合は前回取り込みデータに追加されます。(上書きではございません。)

対象年月 (YYYYMM)

給与システム前月科目データ

...

取込

変換

人事給与システムデータ (科目無し)

...

出力

人事給与システムデータ (科目有り)

...

出力

勤怠管理システム出力データ
(取込データフォーマット)

本シートの【②出力データフォーマット】の『変換仕様』の列の仕様に基づいて変換処理を実施

①取込データフォーマット

①-1勤怠管理システムデータ

ファイル形式：txt形式 カンマ区切り 見出しなし

ファイル名称：「jisseki-ippan.txt」、 「jisseki-rinsyoku.txt」

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	備 考
1	時間外等集計番号	CHAR	10	「0000000001」	連携不要（ファイル内で重複無し、前ゼロ埋め）
2	職員管理番号	CHAR	10	「0000000000」	連携不要（固定値：“0000000000”）
3	職員番号	CHAR	10	「012222 」	7桁（後ろ空白埋め）
4	勤務年月	CHAR	6	「202404」	西暦6桁
5	予算機構番号	CHAR	6	「000000」	連携不要（固定値：“000000”）
6	会計	CHAR	3	「 」 （空白）	連携不要（固定値：“ ”）
7	款項目	CHAR	6	「 」 （空白）	連携不要（固定値：“ ”）
8	事業管理番号	CHAR	8	「 」 （空白）	連携不要（固定値：“ ”）
9	時間外 1	CHAR	6	「000001」	整数部分6桁（小数部分なし）（125／100）
10	時間外 2	CHAR	6	「000001」	整数部分6桁（小数部分なし）（150／100）
11	時間外 3	CHAR	6	「000001」	整数部分6桁（小数部分なし）（135／100）
12	時間外 4	CHAR	6	「000001」	整数部分6桁（小数部分なし）（160／100）
13	時間外 5	CHAR	6	「000001」	整数部分6桁（小数部分なし）（100／100）※再任用
14	時間外 6	CHAR	6	「000001」	固定値：“000000”（現在使用していない）
15	振替	CHAR	6	「000001」	整数部分6桁（小数部分なし）（25／100）

②変換マスタ

②-1日額特勤マスタ

今回作成ツール内に保有。メンテナンスが容易に可能なテーブルとする。

（前回登録した値が次回Excelを開いた際に登録されている状態とする。）

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	備 考
1	日額特勤コード	VChr	制限なし	「01」	
2	日額特勤名称	VChr	制限なし	「〇〇特勤」	

②-2管理職特勤マスタ

今回作成ツール内に保有。メンテナンスが容易に可能なテーブルとする。

（前回登録した値が次回Excelを開いた際に登録されている状態とする。）

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	備 考
1	管理職特勤コード	VChr	制限なし	「01」	
2	管理職特勤名称	VChr	制限なし	「〇〇管理職特勤」	

②-3宿日直マスタ

今回作成ツール内に保有。メンテナンスが容易に可能なテーブルとする。

（前回登録した値が次回Excelを開いた際に登録されている状態とする。）

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	備 考
----	-----	----	---------	----------	-----

高知医療センター_②勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携仕様書.xlsx

16	休日 1	CHAR	6	「000001」	整数部分 6 桁（小数部分なし）（1 3 5／1 0 0）
17	休日 2	CHAR	6	「000001」	整数部分 6 桁（小数部分なし）（1 6 0／1 0 0）
18	夜間	CHAR	6	「000001」	整数部分 6 桁（小数部分なし）（2 5／1 0 0）
19	割増時間外 1	CHAR	6	「000001」	整数部分 6 桁（小数部分なし）時間外 1, 3 の60h超過分（150／100）
20	割増時間外 2	CHAR	6	「000001」	整数部分 6 桁（小数部分なし）時間外 2, 4 の60h超過分（175／100）
21	割増休日 1	CHAR	6	「000000」	（使用しない。固定値 0）
22	割増休日 2	CHAR	6	「000000」	（使用しない。固定値 0）
23	日額特勤コード 1	CHAR	3	「000001」	
24	日額特勤回数 1	CHAR	3	「000001」	
25	日額特勤コード 2	CHAR	3	「000000」	
26	日額特勤回数 2	CHAR	3	「000000」	
27	日額特勤コード 3	CHAR	3	「034」	
28	日額特勤回数 3	CHAR	3	「004」	
29	日額特勤コード 4	CHAR	3	「034」	
30	日額特勤回数 4	CHAR	3	「004」	

1	宿日直コード	VChr	制限なし	「01」	
2	宿日直項目名称	VChr	制限なし	「〇〇宿日直」	

②-4連携除外項目マスタ

今回作成ツール内に保有。メンテナンスが容易に可能なテーブルとする。

（前回登録した値が次回Excelを開いた際に登録されている状態とする。）

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	備 考
1	連携除外項目名	VChr	制限なし	「時間外6」	

31	日額特勤コード5	CHAR	3	「035」	
32	日額特勤回数5	CHAR	3	「004」	
33	日額特勤コード6	CHAR	3	「036」	
34	日額特勤回数6	CHAR	3	「004」	
35	日額特勤コード7	CHAR	3	「」 (空白)	
36	日額特勤回数7	CHAR	3	「000」	

37	日額特勤コード 8	CHAR	3	「」 (空白)	
38	日額特勤回数 8	CHAR	3	「000」	
39	日額特勤コード 9	CHAR	3	「」 (空白)	
40	日額特勤回数 9	CHAR	3	「000」	
41	日額特勤コード 1 0	CHAR	3	「」 (空白)	
42	日額特勤回数 1 0	CHAR	3	「000」	
43	日額特勤コード 1 1	CHAR	3	「」 (空白)	
44	日額特勤回数 1 1	CHAR	3	「000」	

高知医療センター_②勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携仕様書.xlsx

45	日額特勤コード1 2	CHAR	3	「」 (空白)	
46	日額特勤回数1 2	CHAR	3	「000」	
47	日額特勤コード1 3	CHAR	3	「」 (空白)	
48	日額特勤回数1 3	CHAR	3	「000」	
49	日額特勤コード1 4	CHAR	3	「」 (空白)	
50	日額特勤回数1 4	CHAR	3	「000」	
51	日額特勤コード1 5	CHAR	3	「」 (空白)	
52	日額特勤回数1 5	CHAR	3	「000」	
53	管理職特勤コード1	CHAR	3	「000」	回数2,3に実績があるとき、“000”. ないとき、空白
54	管理職特勤1 回数1	CHAR	3	「000」	現在使用していない
55	管理職特勤1 回数2	CHAR	3	「001」	6 h 以下の回数(前0埋め)
56	管理職特勤1 回数3	CHAR	3	「001」	6 h 超の回数(前0埋め)
57	管理職特勤コード2	CHAR	3	「」 (空白)	現在使用していない
58	管理職特勤2 回数1	CHAR	3	「000」	現在使用していない
59	管理職特勤2 回数2	CHAR	3	「000」	現在使用していない
60	管理職特勤2 回数3	CHAR	3	「000」	現在使用していない
61	管理職特勤コード3	CHAR	3	「」 (空白)	現在使用していない
62	管理職特勤3 回数1	CHAR	3	「000」	現在使用していない
63	管理職特勤3 回数2	CHAR	3	「000」	現在使用していない
64	管理職特勤3 回数3	CHAR	3	「000」	現在使用していない
65	宿日直コード1	CHAR	2	「」 (空白)	医師：“02” 看護師：“03” その他：“01”(実績がなければ、“ ”)
66	宿日直回数1	CHAR	3	「000」	1 5 割の回数(前ゼロ埋め)
67	半日宿日直回数1	CHAR	3	「000」	5 割の回数(前ゼロ埋め)
68	日直回数1	CHAR	3	「000」	1 0 割の回数(前ゼロ埋め)
69	宿日直コード2	CHAR	2	「」 (空白)	現在使用していない
70	宿日直回数2	CHAR	3	「000」	現在使用していない
71	半日宿日直回数2	CHAR	3	「000」	現在使用していない
72	日直回数2	CHAR	3	「000」	現在使用していない
73	宿日直コード3	CHAR	2	「」 (空白)	現在使用していない
74	宿日直回数3	CHAR	3	「000」	現在使用していない
75	半日宿日直回数3	CHAR	3	「000」	現在使用していない
76	日直回数3	CHAR	3	「000」	現在使用していない
77	介護減額時間数	CHAR	3	「001」	
78	欠勤減額時間数	CHAR	3	「001」	1 日欠勤は含まない。
79	組合減額時間数	CHAR	3	「001」	
80	部分休業減額時間数	CHAR	3	「001」	
81	スト時間数	CHAR	3	「001」	
82	勤務日数	CHAR	2	「001」	日給者用項目（前月実績、日給者のみ使用）
83	欠勤日数	CHAR	3	「001」	1 日欠勤の日数
84	所属部署	CHAR	3	「002」	連携不要
85	勤務予定日数	CHAR	2	「01」	当月予定(当月予定、日給者のみ使用)

①-2給与システム前月科目データ

ファイル形式：excel形式

ファイル名称：任意

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	備考
1	対象年月	NUM	6	「202404」	連携不要
2	職員コード	CHAR	10	「0122222」	
3	電子カルテID	CHAR	10	「0122223」	
4	氏名	CHAR	30	「行政 太郎」	連携不要
5	科目コード	CHAR	6	「0101010101」	
6	科目名	CHAR	6	「〇〇科目」	連携不要

人事給与システム連携データ
(出力データフォーマット)

③出力データフォーマット

③-1人事給与システムデータ（科目無し）

ファイル拡張子：CSV カンマ区切り 見出しあり

ファイル名称：任意

No	項目名	属性	桁 数（半角）	内 容（設定例）	変換仕様
1	データ区分	Num	4	「100」	固定で「100」を出力します。
2	対象年月	Num	6	「202404」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《メインメニュー》の対象年月の入力項目が空白以外の場合 《メインメニュー》の対象年月を出力 ・《メインメニュー》の対象年月の入力項目が空白の場合 ①-1勤怠管理システムデータのNo4(勤務年月)を出力
3	コード	VChr	10	「0122223」	①-1勤怠管理システムデータのNo3(職員番号)について、空白を削除後、 ①-2給与システム前月科目データと比較し、以下の通り変換し、出力 ・①-2給与システム前月科目データのNo3(電子カルテID)と合致するものがあった場合 ①-2給与システム前月科目データのNo2(職員コード)を出力 ・①-2給与システム前月科目データのNo3(電子カルテID)と合致するものがなかった場合 空白を削除済みの①-1勤怠管理システムデータのNo3(職員番号)を出力
4	介護減額時間数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo77(介護減額時間数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
5	欠勤減額時間数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo78(欠勤減額時間数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
6	組合減額時間数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo79(組合減額時間数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
7	部分休業減額時間数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo80(部分休業減額時間数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
8	スト時間数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo81(スト時間数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
9	勤務日数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo82(勤務日数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
10	欠勤日数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo83(欠勤日数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
11	勤務予定日数	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo85(勤務予定日数)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない

③-2 人事給与システムデータ（科目有り）

ファイル形式：CSV形式 カンマ区切り 見出しあり

ファイル名称：任意

高知医療センター_②勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携仕様書.xlsx

No	項目名	属性	桁 数 (半角)	内 容 (設定例)	変換仕様
1	データ区分	Num	4	「100」	固定で「100」を出力します。
2	対象年月	Num	6	「202404」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《メインメニュー》の対象年月の入力項目が空白以外の場合 《メインメニュー》の対象年月を出力 ・《メインメニュー》の対象年月の入力項目が空白の場合 ①-1勤怠管理システムデータのNo4(勤務年月)を出力
3	コード	VChr	10	「0122223」	①-1勤怠管理システムデータのNo3(職員番号)について、空白を削除後、 ①-2給与システム前月科目データと比較し、以下の通り変換し、出力 ・①-2給与システム前月科目データのNo3(電子カルテID)と合致するものがあった場合 ①-2給与システム前月科目データのNo2(職員コード)を出力 ・①-2給与システム前月科目データのNo3(電子カルテID)と合致するものがなかった場合 空白を削除済みの①-1勤怠管理システムデータのNo3(職員番号)を出力
4	科目コード	VChr	10	「0101010101」	③-2 人事給与システムデータ (科目有り) のNo3(コード)と①-2給与システム前月科目データのNo2(職員コード)を比較し、合致した行の①-2給与システム前月科目データのNo5(科目コード)を出力
5	時間外 1	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo9(時間外 1)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
6	時間外 2	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo10(時間外 2)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
7	時間外 3	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo11(時間外 3)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
8	時間外 4	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo12(時間外 4)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
9	時間外 5	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo13(時間外 5)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
10	時間外 6	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo14(時間外 6)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
11	振替	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo15(振替)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
12	休日 1	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo16(休日 1)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
13	休日 2	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo17(休日 2)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない
14	夜間	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo18(夜間)を出力 ・《②-4連携除外項目マスタ》のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない

高知医療センター_②勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携仕様書.xlsx

15	割増時間外 1	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo19(割増時間外 1)を出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない	
16	割増時間外 2	Num	7, 2	「1.00」	以下の通り分岐しデータを出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo20(割増時間外 2)を出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない	
17	割増休日 1	Num	7, 2	「0」	以下の通り分岐しデータを出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo21(割増休日 1)を出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない	
18	割増休日 2	Num	7, 2	「0」	以下の通り分岐しデータを出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>の連携除外項目名に一致するものがない場合 ①取込データフォーマットのNo22(割増休日 2)を出力 ・ <<②-4連携除外項目マスタ>>のNo1(連携除外項目名)に一致するものがある場合 列を詰めて表示しない	
19	日額特勤名称 (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「1.00」	1. ①取込データフォーマットのNo23(日額特勤コード 1)、No25(日額特勤コード 2)、No27(日額特勤コード 3)、No29(日額特勤コード 4)、No31(日額特勤コード 5)、No33(日額特勤コード 6)、No35(日額特勤コード 7)、No37(日額特勤コード 8)、No39(日額特勤コード 9)、No41(日額特勤コード 1 0)、No43(日額特勤コード 1 1)、No45(日額特勤コード 1 2)、No47(日額特勤コード 1 3)、No49(日額特勤コード 1 4)、No51(日額特勤コード 1 5)を確認し、<<②-1日額特勤マスタ>>のNo1(日額特勤コード)に同一のものがある場合、No2(日額特勤名称)を列の表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの日額特勤コードの各番号と<<②-1日額特勤マスタ>>のNo1(日額特勤コード)に同一のものがあるものについて、各番号に対応する日額特勤回数より実績を取得(例：日額特勤コード1であれば、日額特勤回数1から実績を取得)、同じ日額特勤コードの回数について合算し、③-2 人事給与システムデータ(科目有り)のNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致するコードの行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 ○各回数 No24(日額特勤回数 1)、No26(日額特勤回数 2)、No28(日額特勤回数 3)、No30(日額特勤回数 4)、No32(日額特勤回数 5)、No34(日額特勤回数 6)、No36(日額特勤回数 7)、No38(日額特勤回数 8)、No40(日額特勤回数 9)、No42(日額特勤回数 1 0)、No44(日額特勤回数 1 1)、No46(日額特勤回数 1 2)、No48(日額特勤回数 1 3)、No50(日額特勤回数 1 4)、No52(日額特勤回数 1 5) ※<<②-2日額特勤マスタ>>のNo1(日額特勤コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする
20	管理職特勤名称1 (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「2.00」	1. ①取込データフォーマットのNo53(管理職特勤コード 1)、No57(管理職特勤コード 2)、No61(管理職特勤コード 3)を確認し、<<②-2管理職特勤マスタ>>のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがある場合、No2(管理職特勤名称)に『1』を後ろにつけて列の表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの管理職特勤コードの各番号と<<②-2管理職特勤マスタ>>のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがあるものについて、各番号に対応する管理職特勤○回数 1 より実績を取得、合算し、③出力データフォーマットのNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致する行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 ○各回数 No54(管理職特勤 1 回数 1)、No58(管理職特勤 2 回数 1)、No62(管理職特勤 3 回数 1) ※<<②-2管理職特勤マスタ>>のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする

高知医療センター_②勤怠管理システム→人事給与システム(庶務申請データ)連携仕様書.xlsx

21	管理職特勤名称2 (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「1.00」	1. ①取込データフォーマットのNo53(管理職特勤コード1)、No57(管理職特勤コード2)、No61(管理職特勤コード3)を確認し、《②-2管理職特勤マスタ》のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがある場合、No2(管理職特勤名称)に『2』を後ろにつけて列の表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの管理職特勤コードの各番号と《②-2管理職特勤マスタ》のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがあるものについて、各番号に対応する管理職特勤○回数2より実績を取得、合算し、③出力データフォーマットのNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致する行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 ○各回数 No55(管理職特勤1回数2)、No59(管理職特勤2回数2)、No63(管理職特勤3回数2) ※《②-2管理職特勤マスタ》のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする
22	管理職特勤名称3 (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「1.00」	1. ①取込データフォーマットのNo53(管理職特勤コード1)、No57(管理職特勤コード2)、No61(管理職特勤コード3)を確認し、《②-2管理職特勤マスタ》のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがある場合、No2(管理職特勤名称)に『3』を後ろにつけて列の表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの管理職特勤コードの各番号と《②-2管理職特勤マスタ》のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがあるものについて、各番号に対応する管理職特勤○回数3より実績を取得、合算し、③出力データフォーマットのNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致する行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 ○各回数 No56(管理職特勤1回数3)、No60(管理職特勤2回数3)、No64(管理職特勤3回数3) ※《②-2管理職特勤マスタ》のNo1(管理職特勤コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする
23	宿日直項目名称(宿日直) (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「1.00」	1. ①取込データフォーマットのNo61(宿日直コード1)、No65(宿日直コード2)、No69(宿日直コード3)を確認し、《②-4宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)に同一のものがある場合、No2(宿日直項目名称)に『(宿日直)』を後ろにつけて表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの宿日直コードの各番号と《②-3宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)が同一のものがあるものについて、各番号に対応する宿日直回数より実績を取得、合算し、③出力データフォーマットのNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致する行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 No66(宿日直回数1)、No70(宿日直回数2)、No74(宿日直回数3) ※《②-3宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする
24	宿日直項目名称(半日) (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「4.00」	1. ①取込データフォーマットのNo61(宿日直コード1)、No65(宿日直コード2)、No69(宿日直コード3)を確認し、《②-4宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)に同一のものがある場合、No2(宿日直項目名称)に『(半日)』を後ろにつけて表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの宿日直コードの各番号と《②-3宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)が同一のものについて、各番号に対応する半日宿日直回数より実績を取得、合算し、③出力データフォーマットのNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致する行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 No67(半日宿日直回数1)、No71(半日宿日直回数2)、No75(半日宿日直回数3) ※《②-3宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする
25	宿日直項目名称(日直) (取得した名称により可変)	Num	7, 2	「1.00」	1. ①取込データフォーマットのNo61(宿日直コード1)、No65(宿日直コード2)、No69(宿日直コード3)を確認し、《②-4宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)に同一のものがある場合、No2(宿日直項目名称)に『(日直)』を後ろにつけて表題に設定。(異なる名称は別の列とする。) 2. ①取込データフォーマットのNo3(職員番号)毎に、①取込データフォーマットの宿日直コードの各番号と《②-3宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)が同一のものについて、各番号に対応する半日直日直回数より実績を取得、合算し、③出力データフォーマットのNo3(コード)記載の通りの変換の結果合致する行の「1.」の変換の結果、合致する表題の列にデータを出力 No68(日直回数1)、No72(日直回数2)、No76(日直回数3) ※《②-3宿日直マスタ》のNo1(宿日直コード)に同一のものがない場合は、 列を詰めて出力しない。	※職員番号ごとに各実績を横並びのデータにする